

令和7年度 長南小学校学校評価アンケート結果について

【学校教育目標】

- 「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、確かな学力を身につけた児童の育成」
- ・重点目標1 確かな学力の育成（学びづくり）
学習指導の質的向上・情報教育の推進と学校図書館の効果的な活用・研究や研修の充実
 - ・重点目標2 豊かな心の育成（心づくり）
生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実、道徳教育・特別活動の充実、教育環境の整備
 - ・重点目標3 健康でたくましい体の育成（体づくり）
体育・健康・安全教育の推進
 - ・重点目標4 保護者・地域から信頼される学校づくり（ふるさとづくり）
人と地域のつながりを大切に、ふるさと長南のよさを実感する教育（郷育）
学校・家庭・地域との連携、幼・保・小の連携と小中一貫教育の充実

【学校経営の重点】

- ・教職員の授業改善と指導力の向上
- ・学習に向かえる環境づくりの推進
- ・地域や保護者の期待と信頼に応える学校づくり
- ・業務改善と働き方改革の推進

☆保護者・児童・職員アンケートの全体的な比較

- アンケートの質問 80%以上肯定的評価の項目数
 R6保護者：16/22 R6児童：16/22 R6職員：20/22
 R7保護者：15/22 R7児童：17/22 R7職員：20/22
 ※昨年度と比較して、80%を超える肯定的評価の項目は同程度

- アンケートの質問 肯定的評価の上位3項目、下位3項目

| | 保護者 | 児童 | 職員 |
|-------|--|---|--|
| 上位3項目 | ・教育方針・活動の伝承 96.7% ・わかりやすい情報伝達 ・安全や健康への配慮 ・わかる授業 96.2% ・小中連携 94.5% | ・ともだちへの思いやり 95.8% ・安全や健康への配慮 ・ちがいを認め合い互いを大切に 93.6% ・いじめをゆるさない 93.2% | ・いじめをゆるさない ・ともだちへの思いやり ・いじめ根絶への相談 100% ・丁寧な指導 100% ・わかりやすい情報伝達 ・ふるさとを愛する心 100% |
| 下位3項目 | ・読書活動 45.4% ・最後まで課題に取り組む 54.1% ・宿題や家庭学習 69.9% | ・読書活動 66.5% ・大きな声のあいさつ 73.7% ・最後まで課題に取り組む 75.0% | ・小中連携 ・運動に親しむ態度 78.9% |

【共通した評価結果の項目】

- 心づくりに関する項目は、保護者・児童・職員とも高い。
- わかる授業、安全や健康への配慮、わかりやすい情報伝達も同様である。
- 読書活動の充実には、課題を残している。

【自己評価 児童・保護者・職員アンケートの回答を受けて】

- 昨年度より取り入れたWEB回答による回答率は、昨年度と同程度の75.3%であったが、日々の学校教育活動に対する理解と協力は大きい。
- 地域との交流活動に理解を示してくださり、ボランティア活動にも積極的に参加してくださる保護者が多い。
- 昨年度よりも、ICTによる学習意欲、運動に親しむ態度への肯定的評価は、保護者・児童・職員ともに高くなっている。家の手伝いや清掃活動については、保護者・児童

は高くなっている。大きな声のあいさつ、規則正しい生活については、児童・職員は高くなっている。

○昨年度と比較し、全体的に保護者からの「そう思う」の回答が増えている。8割以上の設問については、肯定的な回答が昨年度より増えている、または同程度である。

△丁寧な指導、ていねいな教育相談については、保護者・職員の評価は上がったが、児童の評価はやや下がった。子どもと向き合う時間を増やし、成果を高めていく。

△昨年度より少なかったが、自由記述の部分では、様々な要望や意見、感謝の言葉をいただいた。意見を真摯に受け止めて改善を図っていききたい。

●全校で読書指導を工夫し、児童も取組に参加しているが、読書活動については、今年も保護者・児童の評価が低い。

●大きな声の挨拶、最後まで課題に取り組む態度の育成、宿題や家庭学習への取組については、今後も教育活動の課題である。日々の指導をより充実させていく必要がある。

☆来年度に向けて

◎重点目標1 確かな学力の育成【学びづくり】に向けて

- ・今後も計画的に校内研修を充実させ、学力検査等の結果を踏まえた授業改善を実践し、ICT機器をより効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを取り入れながら、丁寧な指導を心がけた分かる楽しい授業づくりに努めていきます。
- ・授業での学習内容の定着と家庭学習の習慣づけを意識した宿題の工夫を行い、家庭学習強化週間や自主学習ノートなどの取組をより推進していき、保護者との連携を強めながら家庭学習の充実に継続的に努めていきます。
- ・話を聞く態度などの学習規律のさらなる定着と、学習用具の準備などの学習習慣の育成を、家庭と連携しながら継続して図っていきます。
- ・児童が学ぶ楽しさを実感できるよう教材研究に励み、児童把握と授業技術の向上を図っていき、児童が主体的に学習に向かい、最後まで課題に根気強く取り組む態度を育てます。
- ・読み聞かせや朝の全校読書、読書の木活動、読書カードの活用、本の紹介コーナー設置などを継続し、学習における並行読書や調べ学習への利用も推進し、読書活動の充実を目指します。

◎重点目標2 豊かな心の育成【心づくり】に向けて

- ・「いじめを絶対に許さない」積極的な生徒指導を日々継続して推進し、学期毎や長期休業前後の教育相談やSOSサインの出し方の指導などを行い、児童一人一人を理解し、困ったことや悩みを教師に相談しやすい環境づくりに心がけ、教育相談をより充実させていきます。研修により職員の教育相談の技術の向上にも努め、児童と向き合う時間を確保できるようにします。
- ・色々な教育活動で、様々な立場の人とコミュニケーションをとり支え合う活動場面を積極的に取り入れ、友達と協力して取り組む活動をとおして児童間の相互理解を深め、児童の思いやりや助けあいの心をさらに育てています。
- ・道徳の授業や特別活動を充実させ、日常生活に生きる道徳指導を工夫し、異年齢集団による活動・体験や外部人材等を活用した人権教育を計画的に実践していきます。道徳の授業公開も継続して行っていきます。
- ・礼儀正しく明るい校内の言語環境を整備し、日常的な取り組みとして、職員から児童、児童から児童への率先した声かけや、挨拶のルール（あかるく・いつでも・さきに・つづけて）の定期的な確認、登下校時の指導や学級活動での指導、あいさつ運動などを継続して行い、挨拶の励行をより強化していきます。

◎重点目標3 健康でたくましい体の育成【体づくり】に向けて

- ・体力の向上と心身の健康保持を目指した計画的・継続的な体力づくりに向け、マラソンや縄跳びだけでなく、休み時間の外遊びを常時奨励するとともに、体育科授業の改善や教材教具の工夫、学習カードの活用、外遊び用具の補充など、運動に親しむための教育環境の充実を進めていきます。
- ・日々の学習・生活における児童への安全指導を適宜行い、計画的な避難訓練や安全教育を実施して児童の危機回避能力を高め、安全で安心な学校生活を過ごせる力を育成していきます。

- ・保護者や地域とより積極的に関わり、校内の安全点検や環境整備、児童相互の良好な関係づくりに常時努め、安全安心な学校づくりを行っていきます。
- ・家庭や地域と連携して、早寝・早起き・朝ご飯などをはじめ、健康課題への適切な対応を積極的に行い、食育を重視した給食指導を強化していきます。

◎重点目標 4 保護者・地域から信頼される学校づくり【ふるさとづくり】に向けて

- ・ふるさと学習を継続し、自分たちが生活している町を理解する教育を充実させます。
- ・地域ボランティアとの連携をより強め、ふり返りの活動を充実させ、ふるさとの素晴らしさに気づき、町を愛する心の育成に継続して取り組んでいきます。
- ・継続してPTAや地域の方々へ積極的に教育活動を公開し、学校の教育実践を広く理解していただき、協力を得るための情報発信を継続して推進していきます。
- ・幼・保・小間の交流を充実させ、小・中間の相互授業参観と児童・生徒の交流を積極的に実施していきます。
- ・年間の学校行事を見直し、児童の成長に必要な行事を精選して実施していきます。
- ・町教育委員会と連携し、学校の業務改善と職員の働き方改革を推進するための取り組みを実施していきます。（校務のICT活用、家庭連絡のWEB活用、短縮日課実施など）

☆学校運営協議会より（学校関係者評価）

2026.2.6

◎重点目標 1：学びづくりについて

- ・読書活動の評価はまだ低いものの、具体的な努力目標を定めて地道に尽力されているのがよくわかる。学校だよりも読書の記事欄を設け保護者の啓発に努めたり、学級別月別の読書数を見える化したりするなど、丁寧な実践がよく分かる。更なる努力をお願いする。
- ・前年度に比べ読書に力を入れているのが分かった。
- ・自分が子どもの頃、あまり本を読む環境がなかった為、長南小の読書に対する取組はとてもよいものだった。
- ・「おすすめの本コーナー」を設置して、特に子どもたちが好きな本を紹介する取組はよいと思った。評価が下がったのは残念だが、継続すれば効果が出ると期待して、粘り強く続けてほしい。
- ・デジタル社会の中で、「読む」「書く」ことが少なくなっていると感じている。読書活動も割合が減ってきているとの事なので、下の「マラソン」の様に、読書が好きな児童も苦手な児童も楽しく取り組める工夫があるとよいかなと思った。
- ・部活動の縮小により、教材研究の時間が確保しやすくなったことと思う。授業改善や個に応じた指導に注力をお願いする。
- ・自分が小学生の時、朝の5分間テストというのがあり、学力アップにつながった記憶がある。短い時間の中、集中し、考え、10問程度だったが満点を取れると嬉しかった思いがある。小さいことの積み重ねなのかなと思う。
- ・年度末を迎え、各教室・廊下に学習のあしあとがしっかりと掲示されていた。3・6年は、落ち着いて学習していた。6年算数の3グループ学習は、個別の進度に応じるのでよい。

◎重点目標 2：心づくりについて

- ・全体的に好評価である。昨年度比でも更に良くなっている。近年、家庭環境も複雑化し悩みや不安を秘めている子もいると思う。情報の収集に努め、一人一人を大切にしたい教育をよろしくをお願いする。
- ・学校外でも比較的あいさつを返してくれる児童が多いように思うが、中には「ムスッ」としてあいさつを1回では返せない子もいる。学校だけでなく、家庭や地域でもあいさつ励行をすすめられるとよいかなと思う。
- ・挨拶はその人を見る重要な指標となることだと思う。家族でも学校でも社会に出ても大切なことなので、家庭ではもちろんの事、学校教育での指導はとてありがたいことだと思う。
- ・様々な体験授業を通して心の育成ができていたと感じた。古代米は長南米として

地元根付いていると思うので、今年度から実際に田んぼにて作れたのは良い経験だと思った。お米のありがたみ分かると思う。

- ・先生方は大変忙しいと思うが、働き方改革を進めて、一方で児童とのコミュニケーションの時間が少しでも増えれば、と思う。

◎重点目標3：体づくりについて

- ・業間や昼休みに外遊びをする子が増えているようだ。バス通で運動量も少なくなっている状況の中、良いことと思う。
- ・肯定的な評価が高まっており、引き続き取り組んでいければと思う。また、百年山に子どもたちが入る機会を、先生や大人の同伴を前提に検討していければと思う。
- ・縄跳びに関連した表や子どもたちの意欲（目標）が廊下に貼り出してあり、学校全体で力を入れているのが感じられ、体の育成につながっていると思う。
- ・廊下で学年（クラス別）で競い合う掲示物を拝見した。子どもたちがやる気が出るよう工夫されていると思った。
- ・縄跳び運動、大縄で集団の意識化、短縄で個別の技能や体力向上でよい取組である。
- ・ウッドデッキ前のジャンピングボードの補修が必要。
- ・マラソンが得意な児童と苦手な児童でレベル分けして実践されたとの取組に感銘を受けた。どの児童も、自分の目標に向かって取り組める工夫を学校はしていると感じた。

◎重点目標4：ふるさとづくりについて

- ・長南町は、人口減少が著しく国立社会保障・人口問題研究所のレポートによれば、千葉県で消滅可能性自治体の1位になっている。児童数も減少し小集団になると、子どもたちも自信をなくし、気持ちが内向きになりがちである。町の大人との交流の場面を設けたり、町の歴史や文化などを学んだりすることで、ふるさと長南への理解はもとより、チョナン町への愛着や誇りの涵養が図られることと思う。小中を通した計画と熱意のある実践をお願いしたい。
- ・毎年学校評価を実施し、保護者の意見を取り入れながら信頼関係が築けていると感じる。学校運営協議会に参加しているので地域のつながりも感じている。ボランティアやコーディネーターさんの存在も大きいと思う。
- ・コーディネーターやボランティアの努力、活躍は素晴らしいと思う。
- ・ふるさと学習は、教科書が無く実践には手間がかかるが、町としては切実な課題である。先生方には長南町の願いを理解してほしい。
- ・「ふるさと学習」は、長南小の財産である。
- ・ふるさと学習や地域ボランティアとの連携を引き続き充実させていく。また、子どもたちが地域の活動（町のイベント、お祭りなど）に参加するような取組ができれば、と考える。
- ・第3回会議で、運動会のもち方に関して、「小中合同」「町民参加」の意見があった。前向きな検討をお願いする。
- ・体育館ステージ上方の校章は中学校のみで、小学校の校章の設置が本運営協議会で問題になっていた。この度設置されたと報告があった。これで、小学校も心穏やかに利用できることと嬉しく思う。
- ・学校だよりについて・・・とにかく素晴らしい。

タイトル：桜梅桃李…子どもの成長への願いが込められている明るい響き

構成：紙面の割り振り、色使い、自体、写真、カット等が適切で見やすい

内容：月々の学校の様子がよくわかる

学校への愛着や児童への愛情がにじみ出ている

今まで多くの学校だよりに触れてきたが、一番素晴らしいと思った。

- ・本町の人口減少、特に子どもや若者の少なさ深刻である。「長南の学校で子どもを学ばせたいから」といって、長南に住み続ける、あるいは、移住してくる家族が増えるような学校づくりをお願いする。

- ・LINEが導入されているのは初めて知った。子育て世代には、LINE導入はとても嬉しいと思う。長南小では必要ないかもしれないが、学校の出入りセキュリティが脆弱なので、今後スマートロックなどの導入も検討するとよいかもしれない。
- ・LINEによる「つながる連絡」は、文章も時間も残り、良い案だと思う。

◎その他

- ・長南小は、うちも4人の子どもがお世話になった。色々大変だと思うが、これからもよろしく願います。

☆保護者の主なご意見・ご要望

※○ご意見 ◎要望 ●批評

- 子供の事をしっかりと考えてくれている素敵な学校です。
- 担任の先生はいつも前向きな関わりをこどもにして下さり、とてもありがたく思っております。また、その他の先生方もよく声掛けをして下さりこちらも嬉しいです。ありがとうございます。
- 担任の先生は、こどものいいところを見つけてくださり、よく関わってくださりとてもありがたいです。こどもも、勉強が面白いと言っています。
- タブレット学習がとても充実しているようで、様々な学習知識や機械操作が身につけている。繰り返し学習の大切さを、親子で感じている。
- ただ、学習時の姿勢や1回の使用時間は気になる。家庭では視力を心配し、気をつけて注意しているが、学校での様子が気になっている。
- はじめは、宿題をする際に答えを聞いてくるだけでしたがここ最近では自分で調べるようになり成長したなと思います。
- 今年のマラソンで良かった点は男女混合になって、見どころが増えたなと感じたところ です。また表彰は男女別でしてくれたところが、とても良かったと思いました。
- ◎夏休みの宿題の取り組みを検討していただきたい。
(夏休みの宿題のねらい「学習した内容を復習して理解度を確認する。」「計画性や学習習慣を身につける。」「自分の興味関心にあった課題に取り組み、主体性を伸ばし達成感につなげる。」をもとに、児童の興味や理解度を考え、課題の内容や量、出し方等 を検討していきます。)
- ◎夏の面談は、夏休みに入ってから1週間後なので、1週目に行ってほしいです。(宿題の 答えも早く欲しいです。)
(保護者の来校回数を考慮し、日程は、小中学校で同日となるように設定しています。 今後も、小中で連携して実施日を検討していきます。)
- ◎クラスの人数が多いと、授業の難易度を考えるのは難しいのではないのでしょうか？学年 が上がるにつれて身体も大きくなるので、可能であればクラスを2つに分けていただきた いです。
(現在、学級編制の標準(1学級あたりの人数の上限を示したもの)は35人です。こ れをもとに各学年の学級数が決められています。)
- ◎この学校は、近年多くなっている順位の付けない運動会にだけはならないでほしいと思 います。短距離走は順位があるからこそ子供達も頑張れるものだと思いますので、この まま順位は付けていってほしいなと思います。
(体育的行事の目的は「運動に親しむ態度の育成」「責任感や連帯感の滋養」「体力の 向上」(学習指導要領より)です。小学校の運動会は、単なる学校行事ではなく、子ど もたちの総合的な成長を促す重要な教育的機会です。徒競走、団体競技、表現活動、応 援合戦などの教育的価値や効果を十分検討し、子どもたちの成長を中心に考えて、今後 も工夫して運動会を行っていきます。)
- ◎良い立地ですので遠征までせずとも町内での校外活動等もっと増えると子供も楽しいの ではと思います。
(本校の教育計画に基づき、児童の学習に必要な校外活動を行っています。各学年の教 科・領域の学習のねらいに沿って、目的地、移動手段、活動内容・方法等を決定してい ます。今年度で、バス代無料の大型の町有バスが廃車となり利用できなくなりました。 経費等も検討しながら、今後も有意義な校外学習を計画していきます。)
- ◎小中連携は大切です。さらに、児童の他学年との学習での交流(音楽や体育、英語や図 工)なども、良いのでは。
(今年度、長南祭参観・クリスマスコンサート参観(小→中)、中学校職場体験での向 寒マラソン交流(小→中)、長南祭の招待状作成(中→小)、生活科手作りおもちゃの 紹介(小→中)などを実施しました。今後も、中学校併設型小学校として、各学年で中 学生と学習・生活で交流できる場面を増やしていきます。)
- ◎子供は給食が大好きです。いつも美味しい給食をありがとうございます。給食の○○が 家でも食べたい!とよく言うので、少しでいいのでレシピの公開をご検討いただければ うれしいです。
(本校の給食は、中学校在籍の今井栄養教諭が献立を作成しています。また、年間を通 じて、今井栄養教諭が給食時には各学級を訪問し、栄養指導も行っています。先日は、

「給食所の作業風景」の動画を送っていただき、鳥の唐揚げの調理工程を子どもたちが視聴しました。レシピの公開を依頼していきます。）

◎朝のバスの見守りはなくしてもいいと思います。

◎朝のバス見守ですが子供達もきちんと安全を守り通学できているし、不要ではないかと思えます。保護者の負担軽減をお願いしたいです。

（朝のお忙しい中、月別の学年毎のバスの見守り当番への御協力をいただきありがとうございます。家庭数の減少に伴い、保護者の皆様の負担を考慮し、見守り当番の配置・人数についてPTAを中心に検討していきます。）

◎LINEでの送信内容が、学校からのお手紙なのか、他の活動からのお知らせなのか、返事が必要なものなのかがわかりやすいと、保護者に伝わりやすいのではないかと思います。

（題名の前に、大事なお知らせには【重要】、チラシ案内等には（お知らせ）のタイトルを付けるようにしていますので、御参照ください。）

◎感染症などが学校で出た時に保護者へ積極的に発信してほしい

◎保護者とも協力して感染拡大を防いでほしい

（現在本校では、特定の感染症罹患者が増加してきた場合は、注意喚起のお手紙やライン連絡を配信し、感染予防への御協力をお願いすることにしています。また、感染症による学級閉鎖をする場合は、感染症の拡大を防止するため、罹患者以外の学級児童の健康状況も考慮し、学校医とも相談して町教育委員会の助言をもとに、学校長が判断しています。）

●回答しにくい質問事項が多いと思えます。学校での様子への質問は、想像で回答しています。

●子供の学校での生活姿勢などは、授業参観やオープンスクールで垣間見るだけなので、答えにくい質問項目が多いです。

（今年度は、学校・学年だよりやホームページ等で学校の活動を紹介する機会を増やしました。次年度では、さらに様々な機会を利用して学校の活動を幅広く紹介していきます）

●担任の先生によって、指導の方法が異なるのはわかりますが、先生の子供達に対する言葉遣いや声の大きさが気になります。「お前」「君」「こいつ」等や子供達の前で大きな声で怒る等、時と場合によると思うのです教育者として人生のお手本の一人として考えてほしいです。大きな声が怖かったり威嚇しているように聞こえたりするようなので。

（学校職員は共通理解のもと、児童の発達段階を考慮しながら、適切に児童への指導や接し方をするよう心がけています。学校の指導で疑問に思われる点については、遠慮なく御相談ください）

●教育活動とは関係ありませんが、バスロータリーの見守りが、ほぼ強制的なのがおかしいと感じています。毎日4人体制で、急な予定が入った場合は、別の方に代わってもらわなければなりません。はっきり言って4人も必要ないのに、ずっとかわりません。

（前述を参照ください。）

●学校で感染症が出ていることの情報がないと我が子が体調不良で病院へ行った時、医者へ正しい情報を伝えることができない

（前述を参照ください。）

いただいた御要望・御意見は、真摯に受け止め、今後の学校経営に生かしていきます。今後も、本校の教育活動に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。